

講師からのメッセージ

皆さんは、普段からコンサートを企画する際、趣旨や対象層に合わせてプログラムを練り上げることも多いのではないのでしょうか。
その中で、こんなふう感じたことはありませんか？

「好評ではあるけれど、もう一味ほしい」

「他の演奏家とちょっと差をつけたい」

「会場全体が一体感に包まれるような、そんな瞬間をもっと生み出したい」

「参加型のプログラムを入れたいけど、どうしたらいいか分からない…」

本講座でご紹介する内容は、音楽療法という「音楽の力」と呼ばれている音楽の特性を活かした内容となっており、「9割以上のリピート率を誇る音楽療法士」となった私が自信をもってお伝えできるものばかりです。

私は普段、音楽療法という音楽の力を活かした音楽プログラムを提供したり、演奏家としてステージに立っています。

その経験から、「子どもから大人まで楽しめて、思わず笑顔がこぼれるような活動」を、実際のコンサートに取り入れられる形でご紹介いたします。

私が実践している音楽療法の考え方や、参加型コンサートの構造、年齢層ごとのアプローチ、具体的な活動紹介、そして実践的なロールプレイまで、盛りだくさんの内容です。

実は、私たちが発信する音楽やコミュニケーションは、相手の自己表現や人との関わりを促進するための手段となり、身体的（体）・心理的（心）・社会的（つながり）目的をもってお届けすることができます。

単に会場を盛り上げるだけでなく、音楽の力を用いて参加者の気持ちを引き出し、人々との交流を生み、会場全体にあたたかな交流をもたらす、そんな意図を含んだコンサートを企画してみませんか？

あなたの音楽が、もっとお客様の心に届くものになるよう、お手伝いします。

演奏家としての幅を広げ、普通のコンサートと差別化を図れる機会を作れるように、是非、ご参加ください。

この出会いを、とても楽しみにしております。